

ニュージーランド金融政策（2023年5月）

予想通りの利上げ決定だが、次回以降の政策金利据え置きを示唆

2023年5月24日

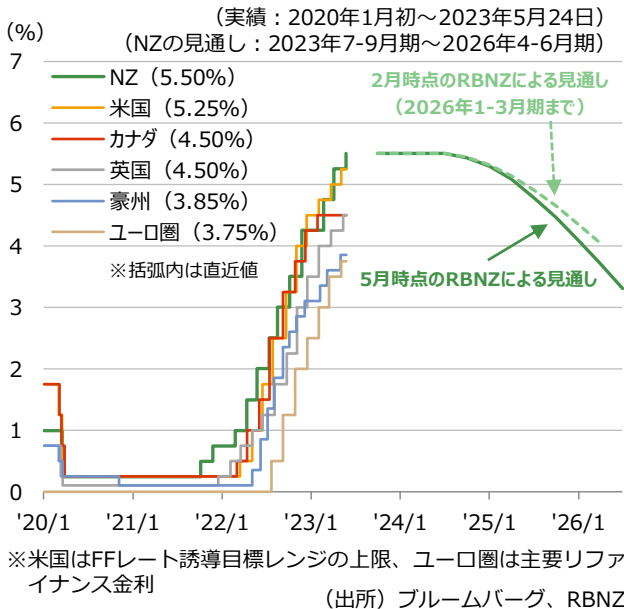
向こう1年は政策金利を据え置く見通し

RBNZ（ニュージーランド準備銀行）は5月24日（現地、以下同様）、金融政策決定会合を開催し、政策金利を5.25%から5.50%へ引き上げることを決定しました。利上げは2021年10月から12会合連続です。利上げ幅は市場予想通りでしたが、市場では次回以降の利上げも見込まれていたため、声明文などで当面の政策金利据え置きが示唆されると、金利低下・通貨安の反応となりました。

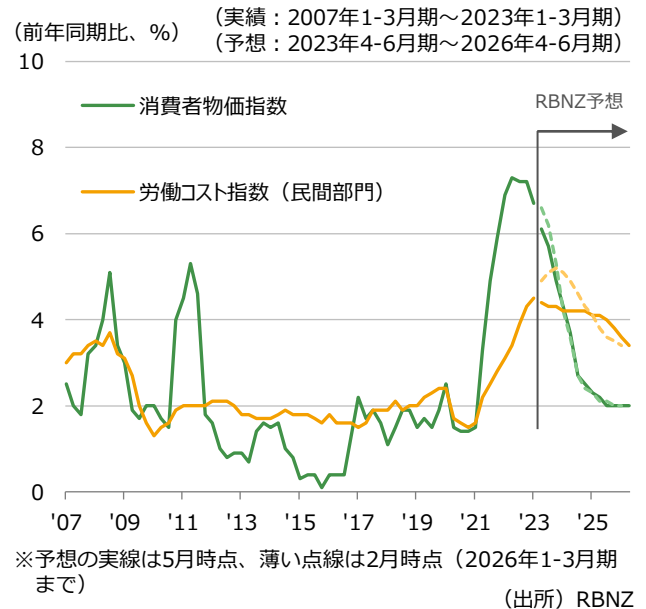
声明文では、今後の方針が「予見可能な将来にわたって政策金利を引き締める水準に維持する必要がある」と記されるにとどまり、追加利上げの可能性は示されませんでした。また、四半期に1度公表される金融政策報告書では次回から来年4-6月期まで政策金利を据え置く見通しが示されました。

インフレ率は依然として目標の1~3%を大きく上回っていますが、住宅ローン金利や企業向け貸出金利は、今後のインフレ鈍化をもたらすのに十分高い水準にあるとRBNZは評価しています。また、固定金利型住宅ローンの高金利への更新が個人消費を今後も抑制するなど、過去の利上げの効果が時間差で経済に波及するとRBNZはみているようです。なお、市場では今年2月の洪水被害（供給減）やそれに伴う追加的な財政支出（需要増）が物価を押し上げることが懸念されていましたが、今回の見通しでは実質GDPや賃金とともに当面のインフレ率の予想が下方修正されており、懸念は杞憂に終わったようです。

各国・地域の政策金利



NZの消費者物価指数と労働コスト指数



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。